

Contents

1~2、手術支援ロボット「ダビンチ SP」を導入

～ロボット支援手術 年間 1,000 件規模の実施を視野に～

3 ページ、JCOG2506（研究事務局：國政 啓）が AMED の

令和 8 年度「革新的がん医療実用化研究事業」に採択

4 ページ上段、前立腺がんに対する新たな治療法。「放射線医薬品療法」を開始

4 ページ下段、府民公開講座「消化器がんは 早期発見で変わる！予防・検診・治療と一緒に学ぶ」を開催しました

5 ページ上段、「看護の日」イベントを開催しました

5 ページ下段、「がん患者のためのフィットネス教室 in 大阪府庁『正庁の間』」を実施しました

6 ページ、【連載】はい、こちら「がん相談支援センター」です

7 ページ上段 寄付者ごほうめい

7 ページ下段 ご寄付のお願い

1～2 ページ

手術支援ロボット、「ダビンチ SP」を導入。

～ロボット支援手術 年間 1,000 件規模の実施を視野に～

手術支援ロボットが 5 台体制に。

近年、がん治療においては、身体への負担を抑える低侵襲手術への関心が高まっており、ロボット支援手術の活用が広がっています。ダビンチ SP についても、国内の複数の医療機関で導入が進み、適応や運用に関する知見が蓄積されています。

このたび、増加するロボット手術需要への対応と、よりていしんしゅうな手術の実施を目的として、本システムを導入しました。

ダビンチ SP は、単一の挿入口から複数の手術器具を操作できる構造となっており、より低侵襲な手術の提供が可能です。これまでのダビンチ Xi と併用しながら、患者さんの状態や病変の場所・種類に応じて適切に使い分けて、医療の質の向上に取り組めます。

ダビンチ Xi とダビンチ SP の違い。

ダビンチ Xi。

ダビンチ Xi は、4 本の多関節アームを持つ手術支援ロボットです。

約 1cm の小さな穴を 4 か所開け、そこから 4 本のアームとともに照明や手術器具を入れて、それ

を操作して手術を行います。

ダビンチ SP。

ダビンチ SP は、1 本のアームにカメラと手術器具（かんし）がまとまっています。

傷は 1 か所のため、痛みはさらに少なく、ほとんど目立ちません。従来のダビンチ Xi では難しかったのどや乳房の手術にも対応可能です。

今後の展開。

今後は、新しいロボットの強みが発揮できる大腸外科、乳腺外科、頭頸部外科（耳鼻咽喉科）、呼吸器外科、婦人科などを中心に活用していく予定です。

今回の導入により年間 1,000 件規模のロボット手術の実施を見込んでいます。

3 ページ。

JCOG2506（研究事務局：國政 啓）が、AMED の令和 8 年度「革新的がん医療実用化研究事業」に採択。

JCOG2506 の背景。

進行した非小細胞肺がんの治療では、がんの増殖に関わる特定の遺伝子の変化を調べ、その変化に合った分子標的薬※1 を選ぶことが国際的に勧められています。MET 遺伝子エクソン 14 スキッピング変異※2 も、そのような遺伝子の変化のひとつで、MET という遺伝子の一部に生じる変化です。本邦では 2020 年 5 月から、この変化がある患者さんに対して、MET チロシンキナーゼ阻害薬※3 という、この遺伝子の変化に着目した治療薬が使われるようになり、現在は 3 種類の薬剤が使用可能です。

一方で、我々は、これらの薬が使われる以前から、大阪国際がんセンターでの診療を通じて、この遺伝子の変化がある肺がん患者さんに、免疫チェックポイント阻害薬※4 が奏効する症例を複数経験してきました（ESMO2025 にて発表し、現在、論文投稿中）。

こうした臨床経験を踏まえ、この遺伝子の変化がある肺がんに対して、どの治療を最初に行うのが最もよいのかを明らかにするため、MET チロシンキナーゼ阻害薬と免疫チェックポイント阻害薬を比較する第 III 相無作為化比較試験（複数の治療法を公平に比較するための臨床試験）である JCOG※52506（DECIDE-MET 試験）を計画しました。 JCOG2506 は研究代表者を後藤 悌先生（国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科）、研究事務局を國政 啓（大阪国際がんセンター 呼吸器内科）とし、全国 60 施設の JCOG 肺がん内科グループで研究を進めてまいります。

AMED 採択。

今回、JCOG2506 を国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）の令和 8 年度「革新的がん医療実用化研究事業」（一次公募）に國政啓を研究の代表として申請しました。同事業は、基礎領域の研究成果を確実に医療現場に届けるため、非臨床領域の後半から臨床領域を中心として、予防・早期発見、診断・治療等、がん医療の実用化をめざした研究を推進するものです。

厳正な審査の結果、【Field4】「がんの標準治療の確立、ライフステージに応じたがん治療に関する研究」における小区分【Field4-3】「希少がんの標準的治療法確立のための臨床試験」に採択されました。研究開発課題名は、「MET 遺伝子エクソン 14 スキッピング変異陽性の未治療進行非小細胞肺癌に対する一次治療としての MET 阻害薬とペムブロリズマブ単剤またはプラチナ製剤併用がん薬物療法のランダム化比較第 III 相試験」です。

今後、令和 8 年 4 月から令和 10 年度末まで、AMED の支援のもと、大阪国際がんセンターが研究事務局として本研究を牽引してまいります。

最後に。

本研究は大阪国際がんセンター呼吸器内科での臨床経験を基に、JCOG 肺がん内科グループに 2024 年 2 月に研究提案を行い、2 年間の準備期間を経て開始に至りました。

MET エクソン 14 スキッピング変異を有する肺がんの標準治療は MET チロシンキナーゼ阻害薬なのか、免疫チェックポイント阻害薬なのかという疑問は世界的な臨床課題であり、大阪国際がんセンター発のエビデンスにより世界のガイドラインを創出していきたいと思っています。

注釈。

分子標的薬とは、がん細胞にみられる特定の遺伝子異常やたんぱく質を標的として作用する治療薬のこと。

MET 遺伝子エクソン 14 スキッピング変異とは、MET 遺伝子の一部（エクソン 14）が欠けることで、がん細胞の増殖に関わるシグナルが持続しやすくなる遺伝子異常のこと。

MET チロシンキナーゼ阻害薬とは、MET という、がん細胞の増殖に関わるたんぱく質の働きを阻害することで、がんの進行を抑える分子標的薬のこと。

免疫チェックポイント阻害薬とは、がん細胞によって抑えられている免疫の働きを回復させることで、患者さん自身の免疫ががん細胞を攻撃しやすくする治療薬のこと。

JCOG とは、Japan Clinical Oncology Group の略。日本国内の医療機関が共同で参加し、がん治療の有効性や安全性を検証する多施設共同臨床試験を実施する日本最大のがん臨床試験グループのこと。

4 ページ上段

前立腺がんに対する新たな治療法、「放射線医薬品療法」を開始。

当センターでは、このたび、前立腺がん細胞に出ている物質を標的とした「PSMA 放射性リガンド療法」を開始しました。

治療の概要。

PSMA（Prostate-Specific Membrane Antigen：前立腺特異的膜抗原）とは、前立腺がん細胞に多くみられるたんぱく質です。近年、この PSMA を標的とした前立腺がんの診断および治療が、国内外で注目され、大きな期待を集めています。

当センターでは、泌尿器科、アイソトープ診療科、看護部、医療技術部放射線部門、事務局が連携し、条件のあった前立腺がんに対して PSMA を標的とする治療を新しく導入しました。

これにより、前立腺がん患者さんの治療の選択肢を広げ、患者さん一人ひとりの状態に応じた最適な治療の提供が可能になります。

泌尿器科 副部長 川村 憲彦医師からのコメント。

前立腺がんの治療は年々進歩しており、患者さんの病状に応じて適切な治療を選択することが重要です。

今回の PSMA 放射性リガンド療法の導入により、当センターで提供できる治療の幅が広がり、患者さん一人ひとりに合わせた治療の実現につながるものと期待しています。

関連する治療。

当センターでは、これ以外にも放射性医薬品を用いた治療に取り組んでいます。神経内分泌腫瘍に対しては、安全管理のための専用病室においてペプチド受容体放射性核種療法を実施しています。

4 ページ下段。

府民公開講座「消化器がんは 早期発見で変わる！予防・検診・治療と一緒に学ぶ」を開催しました。

5 月 10 日（日）、大阪市中央公会堂の大集会室にて、大阪国際がんセンター消化器外科主催の府民公開講座「消化器がんは 早期発見で変わる！予防・検診・治療と一緒に学ぶ」を開催しました。

本講座には 650 人を超える事前登録があり、消化器がんへの関心の高さがうかがわれました。

当日は、食道・胃・肝胆膵・大腸の各分野を専門とする外科医が登壇し、消化器がんの特徴や検診の大切さ、治療の進歩について、わかりやすく解説しました。

また、生活習慣改善のヒントの紹介や、専門外科医による Q&A も行われ、参加者の皆さまにとって、ご自身やご家族の健康について改めて考える機会となりました。

今後も当センターでは、がんに関する正しい知識の普及啓発と、早期発見・早期受診につながる取り組みを進めてまいります。

5 ページ上段。

「看護の日」イベントを開催しました。

看護部 看護の日委員会：沼田 菊子、吉岡 知美、木本 美佐恵、大八木 香奈江。

看護の日とは、国民が「看護の心」「ケアの心」「助け合いの心」を育み、看護や医療への理解を深めることを目的として、ナイチンゲールの誕生日である 5 月 12 日に制定された記念日のこと。

5 月 18 日（月）、「看護の日」のイベントを開催しました。今年も、2 年目看護師を中心とした 33 名の担当者が、企画から運営までを担当し、4 月から準備を進めてきました。スローガンは「見つめる力と寄り添う心で未来へつなぐ看護」。患者さんに前向きな気持ちになっていただけるよう、楽しい時間を届けたいという思いを込めました。

当日は、山根看護部長のあいさつでスタートし、大阪府の人気キャラクター「もずやん®」の登場で会場は大いに盛り上がりました。各部署紹介の映像上映やクイズ大会では、「ナイチンゲールの誕生日は？」など、看護に関する問題を出題し、参加者が笑顔で楽しむ様子が見られました。

体操コーナーでは、「365 歩のマーチ」や「上を向いて歩こう」などの音楽に合わせ、椅子に座っ

たままでできる運動を実施。担当者が作成した動画も活用し、会場に一体感が生まれました。もずやんも体操に参加し、笑い声と拍手に包まれる場面もありました。

イベントには、入院患者さんや外来患者さん、ご家族、看護実習生を含む延べ 43 名が参加。「気分転換になった」「楽しく運動できた」などの声が寄せられ、世代を超えた交流の場となりました。

今後も、患者さんに寄り添い、心に残る看護を届けられるよう取り組んでまいります。

5 ページ下段。

「がん患者のためのフィットネス教室 in 大阪府庁『正庁の間』」を実施しました。

大阪府 健康医療部 健康推進室 健康づくり課。

3 月 3 日（火）、大阪府庁本館 5 階の「正庁の間」において、がん患者さんのための運動イベント「がん患者のためのフィットネス教室 in 大阪府庁『正庁の間』」（共催：大阪府、株式会社ルネサンス、後援：地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪国際がんセンター、NPO 法人がんと共に生きる会）を実施しました。

イベントには、約 40 名の方に参加いただき、「がんと運動」をテーマに、大阪国際がんセンター認定がん専門運動指導士によるセミナーをはじめ、椅子に座ったままできるストレッチや筋トレを行い、がんの治療中や治療後の体力づくりについて学びながら一緒に体を動かしました。

参加者からは、「楽しく体を動かせた」、「運動を続けていきたい」といった感想が寄せられるなど、明るい雰囲気の中でセミナーや運動体験を楽しんでおられました。

6 ページ。

はい、こちら「がん相談支援センター」です。

がん相談支援センター 河上 明子。

File23。ご存じですか？2026 年 8 月より「高額療養費制度」が変わります。

公的医療保険の対象となる医療費のうち、ひと月（月の 1 日～末日）に医療機関や薬局の窓口で支払った額が一定の金額を超えた場合に、その超えた金額が支給される「高額療養費制度」が、2026 年（令和 8 年）8 月より段階的に 2 年にわたって改正されます。今回の改正の主な変更点は、所得区分に応じた「月額上限額の見直し」と、新たに導入される「年間上限額」の仕組みです。

月額上限額は下段の表のとおり所得に応じて一部引き上げられます。一方で、長期にわたり治療を続ける患者さんへの経済的負担に配慮した「年間上限額」が設定され、これにより月ごとの上限に達しない月が重なった場合でも、年間の累計額が各区分の年間上限額（表の▲印）を超えれば、超えた医療費については後日払い戻しを受けることができます。

ご自身の医療費の支払い額や詳細な制度内容についてご不明な点がございましたら、ぜひ、がん相談支援センターにお声かけください。

7 ページ上段

ご寄付について

寄付者ごほうめい 2026 年 3 月 1 日～5 月 31 日

小坂 美里様、岡 実様、加藤 順子様、新村 晋之介様、堀野 博史様、澤 恵子様、向井 闘志

様、

高山 富士夫様、 大北 信幸様、 山本 きよ子様、 住吉 昭一様、 花月 良祐様、 益本 正隆様、
石津 文乃様、 酒井 詳郎様、 馬場 利弘様、 米田 尚記様、 家入 茜様、 藪内 茂様、 熊谷 寿仁
様、 熊谷 多恵様、 紀寺 一男様、 西田 良和様、 山岡 直登様、 山口 人志様、 谷本 正治様、
金 恒勝様、 株式会社オレンジホールディングス様、 大野 真弘様、 藤本 加壽子様、 石原 さゆり
様、 米田 尚弘様、 米田 玲子様、 丹羽 ひろ様、 田淵 収様、 植栗 隆様、 大家 保様、 森岡 幸
三様、 倉橋 龍太郎様、 坂元 千春様。ほか匿名者 45 名。

このたびもさまざまな個人や法人のかたがたから、貴重なご寄付を頂きました。ありがとうございます。
温かいお心遣いに感謝するとともに、ご厚意に報いるべく、これからも患者さんにより良い医療
とサービスを提供してまいります。

8 ページ下段

ご寄付のお願い。

当センターは、常に「患者さん目線」で治療に当たるセンターでありたいと考えています。患者さん
の治療環境の改善や充実した医療を提供していくため、皆様からのご支援をお願いしています。

奥付

オーアイシーアイだより 2026 年夏号〈季刊〉

特定機能病院／地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター

発行 大阪国際がんセンター

編集 事務局

〒541-8567 大阪市中央区大手前 3-1-69

TEL 06-6945-1181 (代表)

2026 年 6 月発行

◆電車でご来院の場合

大阪メトロ「たにまち四丁目駅」北改札口から徒歩約 5 分／京阪電車「天満橋駅」東改札口から徒歩
約 10 分

◆バスでご来院の場合

大阪シティバス「大阪城大手前駅」より徒歩 4 分

◆オンデマンドバスでご来院の場合

「谷町二丁目中」より徒歩約 6 分／「大阪城大手前 90」より徒歩約 3 分

◆お車でご来院の場合

東大阪線「ほうえんざか出口」より約 5 分／東大阪線「森のみや出口」より約 8 分

【提携駐車場】

① エコロパーク大阪府庁駐車場

② 谷町筋地下駐車場（入り口は北向き 1 カ所のみ）

ほじょけんも同伴いただけます

ホームページ <https://oici.jp/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/OICI.jp>

ライン <https://lin.ee/ZOcDHhU>

インスタグラム @oici_1181